

一般社団化目指す

管カメ協臨時総会

5周年で記念行事も

全国水道管内カメラ調査協会（杉戸大作会長）の第5回臨時総会が19日午後、松山市内のホテルで開かれ、協会の一般社団法人化、および来年5月に創立5周年記念行事の開催などを決



平岡部長



杉戸会長

めた。会場には来賓の平岡陽一松山市公営企業局管理部長をはじめ正・賛助会員ら60名が出席した。議事では一般社団法人の設立登記に向け設立趣意書案、定款案、新事務所開設などを了承、設立準備委員

会の設置を決めた。閉会后「水道管内カメラ調査と水質改善」と題し同会理事の(株)クレハエンジニアリングの安藤伸彦氏（水環境営業部チームリーダー）が研究発表を行った。

冒頭、海道尚毅副会長が「水道管の更新はエンドレスな仕事。不断水カメラ調査は管内の可視化を図り、医療現場の内視鏡と同様、不可欠な存在」と開会宣言。杉戸会長は「カメラ調査によって水道の省エネや更新時期の決定、事故予防などに役立てることができ。来年、管カメ協5周年を迎えますが、さらなる飛躍を図りたい」とあいさつした。また、来賓の松山市公営

管路の予防保全を議論



企業局・平岡部長は「この協会が水道管路を守るドクターとして一層活躍されますことを期待する」と祝辞を述べた。協会の一般社団法人登記は来年4月1日。作業は新法人設立準備委員会が行うこととし、杉戸会長を委員

長に、海道副会長、山本政和専務理事、灰本靖彦理事の4人の準備委員を決めた。

管内カメラ調査は日本で生まれた不断水の水道管内カメラ調査技術として注目を集めている。総会には、同会特別会員で首都大学東京の小泉明教授、東京都立大学の長岡裕教授をはじめ、同会専門委員の玉井義弘元大阪市下水道局長・同水道局給水部長、碓井昭彦元神戸市水道局理事、富田宗明元京都市水道局給水部長、竹村雅之日水コン水道本部企画部部长、永尾泰一日本ダクタイル鉄管協会東京事務所主幹・技術グループ長らが出席した。